

# 市の「花木」等が決定

市民の融和・協調を  
象徴するシンボルとして

平成18年12月11日うるま市の花木等検討委員会(伊計光義委員長)からの答申を受けて、市のシンボル(花木等)が下記のとおり決定しました。

伊計委員長は「琉球王朝時代から大切にされてきた動植物であり、シンボルとして市民から愛されるよう希望します」と話し、知念恒男市長は「市民の融和、協調を象徴する素晴らしいシンボル」が選定されたと話しました。

また、今回応募者の中から、15人の方が市の「花木」等の決定者に選ばれています。



▲ 決定した市の「花木」等7つのシンボルを公表する  
伊計委員長、知念市長ほか行政関係者

## うるま市の「花」サンダンカ

アカネ科。花期は周年。沖縄三大名花の一つで、花が年に3回咲くとか三段に重なるようにして咲くから三段花とも言われる。花持ちが長く、公園や庭先などに年中咲いている。



花の色は数種あり、中でも鮮やかな紅色は沖縄の青い空に映えて美しい花である。

## うるま市の「木」リュウキョウコクタン

カキノキ科。クロキ(方言名:クルチ)、ヤエヤマコクタンとも言われ、昔から三線の掉の材料として使われている。民家の庭木や街路樹等として人気のある木である。



## うるま市の「花木」コウナ

アオイ科。開花期は5月から10月。亜熱帯から熱帯にかけて分布し、沖縄では海岸沿によく生えている。花は鮮やかな黄色で、昔は樹皮からとれる繊維や葉っぱを利用するなど生活に密着した花木であった。現在でも潮害防止や防風林として活用されている。



## うるま市の「鳥」チャーン

琉球王朝時代に中国から沖縄にもたらされた鳴き声の美しい鳥である。王朝時代は、士族や王家の愛玩鳥で、戦争で絶滅の危機にあったが、奇跡的に合併前の具志川市(天願)と沖縄市(泡瀬)などで保護されていた。平成3年に沖縄県の指定文化財の指定を受けた貴重な鳥である。



## うるま市の「蝶」オオゴマダラ

マダラチョウ科。日本最大の蝶といわれ、大きな羽をゆったり羽ばたかせながら、ふわふわと優雅に飛ぶ。また、金色に輝く蛹も有名である。



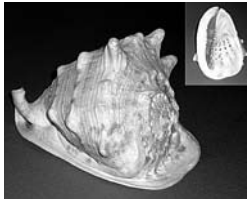
## うるま市の「魚」マクブ

ベラ科。和名は、シロクラベラで成長すると体長が80cmにもなる。青を主体とした美しい紋様の魚で、沖縄から西部太平洋地域に分布し、白身で美味である。沖縄を代表する高級魚の一つである。



## うるま市の「貝」トウカムリ

トウカムリガイ科。漢字では「唐冠貝」と書くように、中国の帽子に似ていることから名付けられた。成長すると体長が40 cmにもなる大型の巻貝でヒトデ等を食することが知られており、うるま市の海域に生息している。また、昔から市内の聖域にある祠に祀られている。



## うるま市の花木等の当選者一覧

山	仲	赤	玉	神	照	上	渡	宇	知	久	渡	長	玉	平	名
城	田	崎	榮	田	屋	里	口	良	花	高	嘉	浜	城	良	
	真	萌	祐	哲	建	榮	美	沙	真	節	敷	紀	里	加	前
	守	美	奈	夫	乃	真	喜	耶	智	子	子	美	枝	代	
								香				代			
”	”	”	”	蝶	鳥	”	”	”	”	木	”	”	”	花	当選部門
江	み	み	石	豊	み	田	兼	沖	読	江	石	み	与	石	住
洲	どり	どり	川	原	どり	場	箇	縄	谷	洲	川	どり	那	川	所
	町	町	東				段	市	村		山	町	城		
			恩					知	喜		城		伊		
			納					花	名		伊		計		

※「花木等」の写真は、今回モノクロですが、市HPの「市の紹介」コンテンツからカラー写真でご覧になれます。ご利用ください。